



# 遠藤 一衛さん・益世さん(権現堂)

取材者：地域社会デザイン・ラボ 中島・遠藤  
取材日：2月23日

## 前を向いて進まなくちゃ



▲名取市美田園のお宅にて、遠藤一衛さん・益世さんご夫妻。

震災前、定年後の生活を悠々自適に楽しんでいた遠藤さんご夫妻。郡山市で約2年半避難生活を送った後、現在は娘さんと一緒に宮城県名取市美田園で暮らしています。

ご主人の一衛さんは「浪江に帰りたけれど、医療や商業施設が整わないと生活が成り立たない」と強調されていました。

私(益世さん)は、郡山ではフラダンスの教室に。ここに来てからは公民館で「どんなサークルがあるか教えてください」と尋ねまして、今は編み物とパッチワーク教室に参加しています。それからコーラスのサークルにも。今日午前中はコー

◆地域の活動に積極的に参加  
美田園にきたばかりの頃は地理も分からないから不安と言えど、不安でね。でも家の中に閉じこもっているわけにはいかなかった。地域のサークルなどにもなるべく積極的に参加しています。  
私(一衛さん)はプールと体育館のジムに通っているんです。ジムの方は、本当は名取市の人がしか利用できないんだけど、プールで知り合った地元の方の紹介で、避難中ってことで特別に許可をもらって。それと、この間は「男の料理教室」にも参加しました。  
私(益世さん)は、郡山ではフラダンスの教室に。ここに来てからは公民館で「どんなサークルがあるか教えてください」と尋ねまして、今は編み物とパッチワーク教室に参加しています。それからコーラスのサークルにも。今日午前中はコー

◆浪江の思い出、家のこと  
私(一衛さん)は釣りが好きで、よく高瀬川、室原川の溪流へアユやハゼ釣りに行きました。釣り仲間だった友人は娘さんと一緒に沖繩に移住しましたが、今も月2回ほど電話をくれます。向こうでは海釣りはできません。けれど川釣りはできない、気兼ねなく話す相手もいないって。浪江の家には月1回くらい帰ります。建物はそのまま残っているんですが、かび臭いし家中は空っぽだから2、3時間しかいられない。それに一時帰宅しても、近所の人と顔を合わせることがあまりないのが寂しいです。早く浪江に帰りたいと思う反面、帰るとなると一からのやり直しになる。実際には難し

ラスの練習があったんですけど、ラジオ体操や発声練習など基礎から教えてくれるんですよ。この辺には閑上など宮城県内で津波に遭って避難して来た方も多いため、被災した同士がお茶のみしながら気軽に話せる場も多いんです。一つに参加すると「こういうのもあるよ」と別の催しに誘われたりして、少しずつ知り合いが増えました。

◆まちの将来に向けて  
浪江の状況を知らないので、新聞は「福島民友」。町の人が集まる茶話会にも毎回顔を出して情報交換しています。皆さん心配しているのは医療と買い物のこと。家内は車の運転ができないので、町の商店が再開しないと、帰還しても生活が成り立たないと。常磐線が復旧し、病院や商店ができて初めて「帰ろう」という動きも活発になるんじゃないでしょうか。  
浪江の広報には生活に直結した情報をもっと載せていただきたい。また避難先の復興住宅に入居しようか迷っている人もいます。二重三重の引っ越しにならないよう、町の方針をはっきり示していただけたらと。  
離れてみるとふるさととの良さがよく分かります。町の人と話すとホッとします。この先、どこに住むことになっても浪江の思い出や人との絆を大切にしつつ、前を向いて進まなくちゃと思っています。

いかなど、半分半分に気持ちが揺れています。

# 浪江のこころ通信

◆第58号◆

平成23年3月11日に発生した東日本大震災、そして福島第一原子力発電所の事故により、福島県内外に分散避難した浪江町民。長期化する避難生活、先の見えない不安の中で、町民の皆さんがどのような思いで生活し、ふるさとへの思いを抱いているのか。

こうした町民の思いをつなげるために、“浪江のこころプロジェクト”が立ち上げられました。一般社団法人東北圏地域づくりコンソーシアム(※)が中心となり、全国各地のNPO、大学等の皆さんが取材を進め、浪江町との連携のもと「浪江のこころ通信」が編集・発行されます。

浪江のこころプロジェクトは、分散避難している町民の皆さんの声を「浪江のこころ通信」を通してお届けし、ふるさと浪江町がかつての暮らしを取り戻すことへの願いとこたわりを発信・共有しようとするものです。

※一般社団法人東北圏地域づくりコンソーシアムは、東北圏(7県)の地域コミュニティ再生や協働のまちづくりの推進を目的として、大学、NPO、企業、経済団体、行政等が連携したコミュニティ支援ネットワーク。仙台が本拠地。

### 「浪江のこころ通信」第58号への感想をお寄せください。

【連絡先】〒964-0984 福島県二本松市北トロミ573番地  
「浪江のこころ通信」宛  
FAX.0243(22)4218





